

文連ニュース

No. 14
2022年1月31日

発行／飯塚文化連盟
〒820-0041 飯塚市飯塚14-67
TEL0948-22-3274(コミセン4F)

◇◇ 祝2022年 新春 ◇◇



飯塚文化連盟 会長 紙野美寿江

寅のとしの春を賀しあげます。

2022年の新年は、新型コロナウイルスの影響で不安定な世情を引き継いで幕開きとなりましたが、一日も早く収束に転じて欲しいものだと思います。

飯塚文化連盟は昨年、コロナ禍の中でも新しい在り方につなげてゆくことを重んじて活動してまいりました。

総会、第40回飯塚新人音楽コンクールの予選（映像審査）、本選、飯塚総合文化祭は、飯塚会場と穂波会場は参加団体の負担を軽減して開催。穎田、庄内、筑穂の3会場は中止。文連ニュースも滞りなく発行。

そして、40回を記念しての飯塚新人音楽コンクール特別招待演奏会は1年の準備期間を経て、久々にお客様を迎えての開催になり、感慨入のものがありません。「4大テノールが奏でるこころの歌」まさしく心身の隅々まで響く声の競演に、暫しコロナを忘れさせる時をいただきました。

会場を後にする大方の皆様から感無量の表情でお礼の言葉を掛けていただき、40回に相応しい内容の演奏会をお届け出来た事、嬉しいひとひでありました。

飯塚文連は、合併以来、各事業部が執行機関として事業を展開しております。その中で特に各事業部に所属する事務局員は、凡ゆる会議や事業への出務をお願いしておりますが、コロナ禍の中でも、一同、本業の傍ら時を惜しまず誠心誠意任務を遂行していただき感謝の言葉もありません。

現在、日本列島はオミクロン株が猛威を振るい、まだまだ試練の日々が続きます。私達の活動にも制限が伴うでしょう。

今年の干支「壬寅」は、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になることを表しています。

新しい年も、干支の通り会員の皆様と一緒に希望を持って困難を乗り越えて進みましょう。

今年もよろしくお願い致します。



第7回飯塚総合文化祭

飯塚会場と穂波会場は開催。
穎田・庄内・筑穂の3会場はコロナ感染症拡大防止の為中止。
令和3年度第54回飯塚市美術展は前回よりも出品者増で予定通り終了した。

飯塚会場

10月16日～11月7日 来場者数 7,056名

- ◆ステージの部（コスモスコモン）
器楽・能楽・演劇・日舞・和太鼓などの8団体
- ◆展示の部（コスモスコモン・コミュニティセンター）
絵画・華道・書道・総合（図書館）
- ◆催しの部（コミュニティセンター）
総合俳句大会

コロナ禍の開催で突然の中止も踏まえ、従来のプログラム作成を取り止める等の対応をした。参加予定の5団体が辞退。直前の準備、集客もコロナ対策で厳しかったが、幸いにも感染者激減の時期と重なり、会場は賑わいをみせたが、特例な文化祭となった。

来年度は、令和4年6月13日～令和5年5月1日の予定でコスモスコモンが大規模改修で使用が出来ない為、近く代替案の会議が持たれる。



穂波会場

11月13日～11月14日 来場者数 延べ517名

- ◆展示の部（穂波体育館）
書道・写真・陶芸・美術同好会・華道(池坊、大和池坊)
保育所作品・趣味の作品
- ◆ステージの部（穂波交流センター）
川筋太鼓・吟詠・カラオケ・日舞・民謡

コロナ禍で飲食を伴う催しは中止。参加団体も減少した為、縮小した文化祭となった。来場者への氏名記入依頼、検温、手指の消毒、予備マスクの準備、椅子の消毒、換気、密を避ける等、感染対策を取りながらの緊張した2日間だったが、開催できたことに感謝、拍手。



第40回飯塚新人音楽コンクール特別招待演奏会

40回を記念して有観客で開催。事前に感染防止対策の協力文書を関係各位に送付し、徹底した防衛策で下記の内容で実施。来場者から多くの絶賛の声をいただき、このコンクールへ今後の更なる期待を強く感じた。

日時 2021年11月21日(日)14:00~

会場 イヅカコスモスコモン 大ホール

第1部 花房英里子(第40回飯塚新人音楽コンクール声楽部門第1位)
小野 杏奈(第40回飯塚新人音楽コンクールピアノ部門第1位)

第2部 テーマ ~4大テノールが奏でるところの歌~

与儀 巧(二期会)

城 宏憲(二期会)

山本 康寛(第32回飯塚新人音楽コンクール声楽部門第1位)

小堀 勇介(第36回飯塚新人音楽コンクール声楽部門第1位)

久保山菜摘(第32回飯塚新人音楽コンクールピアノ部門第1位)



第41回飯塚新人音楽コンクール

41回コンクールに向け、募集受付が12月中旬より始まった。

予選募集の締め切りは3月10日(木)。今回もコロナウィルス感染拡大防止を鑑み、予選は映像審査で開催。本選は現在のところ予定通りだが、コロナの状況により内容の変更も考えられる。

♪会場 イヅカコスモスコモン

♪予選 ピアノ部門 2022年5月3日(祝・火)4日(祝・水)

声楽部門 2022年5月4日(祝・水)5日(祝・木)

予選は映像(DVD)審査とし、審査員のみ来飯し行う。
審査講評は例年通り発送する。

♪本選 2022年6月5日(日)

残念でした！

皆さんが楽しみにしていた研修旅行及び文連パーティは、2021年度もコロナの影響により中止となりました。まだまだコロナの影響は続きそうですが、来年度こそは再開できる事を祈っています。

受賞おめでとうございます

松尾節朗氏（俳句いづか代表）

令和3年度「福岡県地域文化功労者表彰」
（令和3年12月4日アクロス福岡で表彰式）

高校時代に俳句に出会い、70年間休むことなく俳句文化に傾倒した。平成10年（1998年）に菜殻火同人（ながらびどうじん）の会長に就任してからは、九州地区を中心とした500年を超える会員を牽引しながら、俳句文化の発展に大きく貢献。平成27年（2015年）の菜殻火解散後は、市内の愛好家を集め、「俳句いづか」を発足し、現在も代表として活躍。俳句を学びたいという地域住民の要望に応え、各地で俳句教室を開催し講師を務め、地域に根差した普及活動を30年にわたり継続。

飯塚総合文化祭の行事の一環として、俳句を通して児童に四季の移ろいを感じてもらえるよう、昭和52年（1977年）から42年間にわたり「飯塚少年少女俳句大会」を開催。美しい日本語の文化を次世代に継承することに大きく寄与している。

飯塚文化連盟の役員としても、昭和47年（1972年）から事務局、運営委員、監事を歴任し、平成17年に旧飯塚文化連盟の会長に就任。平成18年（2006年）には1市4町の合併後設立された飯塚文化協会の会長に就任し、その5地区の中心的存在として市内の文化芸術活動を牽引した。



大分哲照氏（福岡県合唱連盟筑豊支部顧問）

令和3年度「飯塚市市勢振興功労者表彰」受賞
（令和3年11月3日飯塚市役所で表彰式）

昭和50年（1975年）に同僚と「混声合唱団コーロ・サンガ」を創設。約半世紀にわたり合唱団の常任指揮者として指導をしながらコンサート等を開催し、地域音楽活動に専念している。また、福岡県合唱連盟では副理事長（平成31年（2019年）まで）として献身し、筑豊支部においては支部長（平成14年度（2002年）～平成31年度（2019年））として団体を牽引した。

飯塚新人音楽コンクールを支える市民組織「飯塚新人音楽コンクールを育てる会」では、事業の創設以来理事として活動。事業発展の一翼を担うことにより、現在では全国レベルのコンクールとして定着している。飯塚市合併10周年記念における飯塚市の歌の制作にあたっては「飯塚市の歌制定委員会」の委員を務め、募集した歌詞の選考や歌詞の補足等を行った。



- 11/21 第40回飯塚新人音楽コンクール特別招待演奏会 (コスモスコモン大ホール)
 11/26~27 飯塚市民劇場例会 劇団NLT公演「ミュージカルO. Gオールドガール」
 (コスモスコモン中ホール)
- 12/ 5 九州山口音楽協会・竹の森楽宴
 岡田 将&正戸里佳 ピアノとヴァイオリンによるウィンターコンサート
 (コスモスコモン大ホール)
- 12/12 筑豊吹奏楽連盟 第47回九州アンサンブルコンテスト筑豊支部予選
 (コスモスコモン大ホール)
- 1/16 飯塚吹奏楽団 飯塚吹奏楽団第48回定期演奏会 (コスモスコモン大ホール)
 1/19~20 飯塚市民劇場例会 無名塾公演「左の腕」 (コスモスコモン中ホール)

(コロナ禍における活動中止及び順延サークル)

- 9/19~20 嘉穂高校吹奏楽部
 創立120周年記念福岡県立嘉穂高等学校吹奏楽部第55回定期演奏会
 (コスモスコモン大ホール)
- 12/ 7 '21文連パーティ (パドドゥ・ル・コトブキ)

これからの活動 ▶▶▶▶▶

- 2/13 筑豊フィルハーモニー管弦楽団 オーケストラ！バレンタインコンサート2022in飯塚
 (コスモスコモン大ホール)
- 3/20 嘉穂高等学校楽友会 第47回嘉穂高等学校楽友会定期演奏会
 (コスモスコモン大ホール)
- 4/17 令和4年度飯塚文化連盟総会 (コミュニティセンター401号)
 5/ 3~5 第41回飯塚新人音楽コンクール予選 (コスモスコモン中ホール)
 5/22 混声合唱団コーロ・サンガ
 混声合唱団コーロ・サンガ第15回演奏会(45周年記念) (コスモスコモン大ホール)
 6/ 5 第41回飯塚新人音楽コンクール本選 (コスモスコモン中・大ホール)

文連新入会の申込締め切りは3月11日(金)です

文連に新しく入会希望されるサークルは、3月11日(金)までに
 手続きを終えて下さい。入会には、当該部門の代表者と
 当該分野の運営委員からの計2名の推薦が必要です。

詳しくは、事務局まで
 《コミュニティセンター 4F / ☎ 22-3274》